



橋本 和明(花園大学社会福祉学部教授)

発達障害を有する人の悩みはなかなか外からわかりにくいものです。ましてや障害特性が多岐にわたっており、この人にはあるやり方が通じても、別の人にはまったく効果がないということもあります。そこに支援の難しさもあるのです。

—わかりやすく具体的であること—

私は子どもあれ、大人あれ、発達障害のある人に共通する効果的な支援方法があるとするならば、それは「わかりやすく具体的であること」だと考えています。コミュニケーションのあり方一つ取り上げても、「廊下は走っては駄目です」という指示よりも、「廊下は歩きなさい」と言った方がわかりやすいわけです。また、授業中に後ろを向いて話している児童に、「ちゃんと先生の話を聞きなさい」と抽象的に注意するよりも、「前を向いて、話をせずに先生の話を聞きなさい」と言う方が具体的でわかりやすいのです。これはなにも発達障害のある人に限らず、万人にも通じるかかわりのコツかもしれません。

ある発達障害を持つ保護者のケースを紹介しましょう。その人は要るものと要らないものの取捨選択がまったくできず、家が足の踏み場もない状態になっていました。冷蔵庫には賞味期限がとっくに切れている食べ物がいっぱいあり、生ものが入っていたスーパーのビニール袋もあちこちに散乱し、家中に異臭が漂い、不衛生極まりない環境でした。そこに、小さい幼児も含めて家族6人が暮らしており、ネグレクトと言われても仕方のないところまで事態が進んでいました。この保護者は後片付けをして部屋を綺麗にしたいと思っているのですが、先の見通しが持てない特性も手伝って、何が不要なものかが判断できずに捨てられず、整理をするのに何からどう動いていいのかわからないでいたのです。

この保護者にどのようなアドバイスをすればいいのでしょうか?「部屋を片付け綺麗にしてください」、「要らないものは捨て、必要なものは整理をしておきましょう」等はまったく役に立ちません。なぜなら、その人は片付けたくてもその手順がわからず困っているのです。そして、要らないものと要るものどこで、どのように判断すればいいのかわからないから捨てられないでいるのです。そうであるなら、捨てるものと残すものの基準を明確にしてあげる

ことが有効です。「冷蔵庫の賞味期限の切れている食品はすべて冷蔵庫から出して、生ゴミは次の月曜日の朝に、プラスチック製の容器などは今度の水曜日にビニール袋に入れて出してください」と具体的に、しかも手順を示すような助言はどうでしょうか。また、食べ物ではなく、衣服の整理であるなら、「ここ5年以上は袖を通してない服は大きなビニール袋に入れ、今度の可燃物ゴミの収集時に出してください。子ども用の衣服については、サイズが合わずにもう着ることがないものは同様に処分をしてください」と言ってもいいかもしれません。要するに、その指示が具体的でわかりやすいことが重要なポイントなのです。

—視覚的なものを利用すること—

これもわかりやすく具体的であることの一つと言えるのですが、視覚的なものを利用するといい場合があります。1日の日課ややるべきことを見えるところに張っておき、チェックを入れるなどの工夫をしたり、物事(例えば、清掃など)を進めていくための手順書などを作成しておけば、比較的スムーズに遂行できることもあります。先の片付けられない保護者の場合にもこれがあるととても重宝がられます。

一般的にも、われわれは聴覚記憶が視覚記憶よりも劣っています。ですから、人と日時を約束した直後にメモや手帳に書き留めなければ、すぐに忘れてしまったりするものです。特にこの傾向が顕著な発達障害のある人にとっては、それが大きなネックとなってしまいます。支援者がいろいろ面接でアドバイスをしたり、長電話でどのようにすべきかを丁寧に対応したとしても、その場を離れるまったく話がなかったかのように再び同じ話を何度も問い合わせてくることも起こります。その場合は、面接中の話し合いの内容をホワイトボードで図示したり、本日の面接内容を箇条書きにでもして終了時に相手に渡すこともいいかもしれません。先の見通しの持てない人に対しては、チャート図などで今後起こりうる出来事とリスク、その際に選択できる行動等を示すこともわかりやすいかかわりの一つです。

以上のように、発達障害の特性を理解しながら、目の前にいる人の弱点を補うようなかかわりの技術を高めていくことが必要なのです。

11月は児童虐待防止推進月間です

■集中電話相談 11月1日(火)～11月5日(土)

時間を延長して祝日、土曜も電話をお待ちしています。

06-6762-0088 (午前11時～午後8時まで)

■オレンジリボンキャンペーン

11月1日(火)大阪府、大阪市、堺市と一緒に、南海電鉄

なんば駅及び周辺で午後3時から開催いたします。

